

# 老舗コンビニエンスストア の変革:

創業 50 年のレガシーシステムを  
Google Cloud で刷新した全貌

Google  
Cloud  
Next

Tokyo

Proprietary



# 本日のアジェンダ

- 01 はじめに
- 02 直感的で使いやすいデザイン・現場との共創
- 03 システム構成と技術アーキテクチャ
- 04 AI 活用と現場業務の進化
- 05 まとめ・クロージング

# 01. はじめに



株式会社

セブン-イレブン・ジャパン

## 篠沢 良太

次世代システム推進プロジェクト  
副総括マネジャー



2002年：セブン-イレブン・ジャパンに新卒入社。

店舗勤務を経てOFC（オペレーション・フィールド・カウンセラー）として加盟店経営コンサルティングに従事。

2007年：システム本部店舗システム部に異動。

以降、7-11店舗システムを中心としたシステム企画・開発・導入・運用を担当。

2017年：店舗システム部マネジャーとして第7次POSレジの企画・開発・導入・運用を担当。

2019年：システム企画部マネジャーとして次世代店舗システムの企画・構想を担当。

2020年：次世代システム構築プロジェクト（現次世代システム推進プロジェクト）のプロジェクトマネジャーとして次世代店舗システム刷新プロジェクトの企画・開発・導入・運用を推進中。

# セブン-イレブン・ジャパンについて

- ✓ チェーン全店売上: 5兆3,697億56百万円 (2024年2月期)
- ✓ 店舗数: 21,743店 (2025年2月末現在)
- ✓ **1日当たりの平均来店客数: 約 2,000万人**
- ✓  会員数: 3,600万人以上
- ✓ **従業員数: 約 40万人**
- ✓ 本部・地区事務所: 約 30ヶ所
- ✓ OFC (オペレーション・フィールド・カウンセラー): 約 3,000人
- ✓ 製造工場: 約 170工場
- ✓ 共同配送センター: 約 160ヶ所



# プロジェクトの背景と目的



## 事業面での課題認識

- ✓ 労働人口減少・オーナー様高齢化
- ✓ 人件費高騰・外国籍の従業員様の増加

によりオーナー様負荷が増加、個人の努力では太刀打ちできない状況を迎えている



## システム面の課題認識

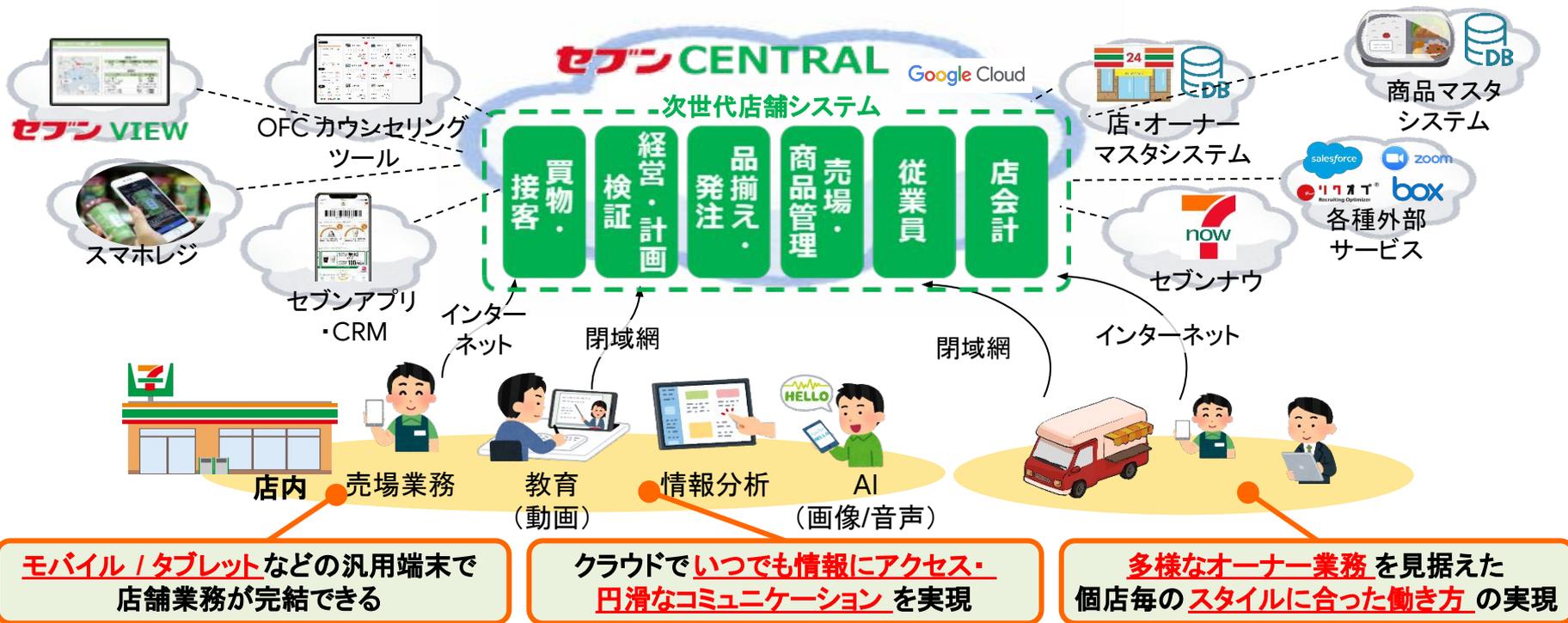
- ✓ 複雑化したレガシーシステム
- ✓ ベンダーロックイン状況

により開発スピード鈍化・改修コスト高騰を招いている

これらの課題を克服するため  
クラウドベースの新しい仕組みを構築する

# 次世代店舗システムとは

最新技術を最大活用して“未来の働き方”を実現する“個店経営システム”を構築

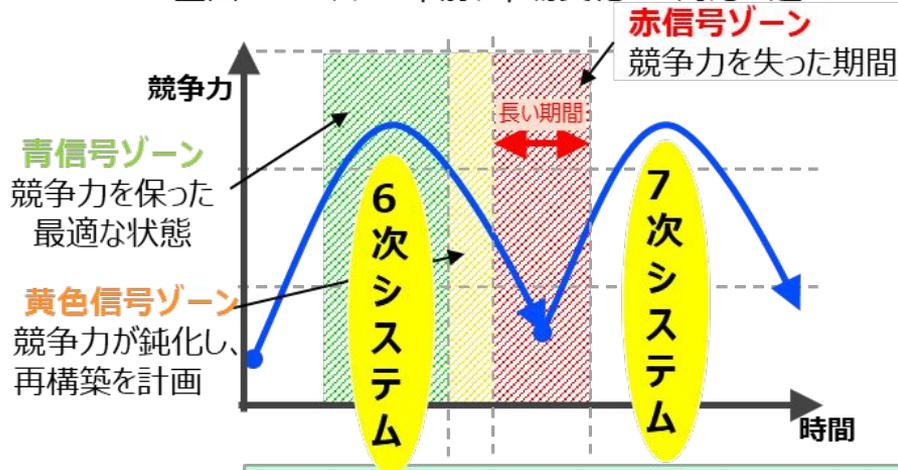


# 次世代店舗システムが目指す世界観

市場の変化に適応し競争力を維持し続ける経営戦略エンジンとして  
圧倒的なスピードとコストでDXを提供するシステム基盤を目指す

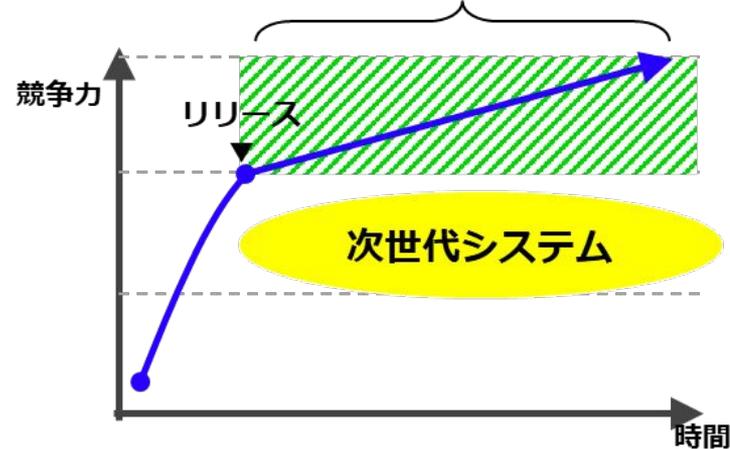
## これまで：大掛かりなスクラップ&ビルド

- ・プロジェクト長期化と労力・コスト
- ・企画はリリースの3年前、市場変化への対応が遅い



## これから：変化対応し続けるシステム

- ・新技術を活用しながら、疎結合化された部品を、  
市場変化に合わせ常に継続進化できるようなシステム基盤



店舗システムの世代を切り替えるアプローチは今回限りで最後

# 次世代店舗システムが目指すもの



## お客様満足・ロイヤリティ向上

UI・UX 向上 / 多言語対応 / 新しい買物体験の提供



## 従業員の皆様の店舗業務の高度化・生産性向上

モバイル・タブレットによるオペレーション / 発注・品揃え機能強化  
/ AI 発注カテゴリー拡大 / 新コミュニケーションツール



## オーナー様の経営管理の高度化

複数店管理機能 / 従業員評価 / 従業員教育 / 個店行為計画のツール化



## OFC・本部の支援力と取引先の生産性向上

店舗コンサルティング / 店舗クラスタリング・商圈分析  
/ 時代の変化に応じた柔軟な機能追加



# プロジェクトスケジュール

## 2021年

- 企画構想
- プロジェクト立ち上げ
- 概要検討
- ベンダー選定(※)

※19の業務領域ごとに  
ベンダー4社を選定

## 2022-24年

- 要件定義
- 設計・開発(※)
- テスト

※プログラム行数 280 万行  
を超える大規模システム

## 2025年

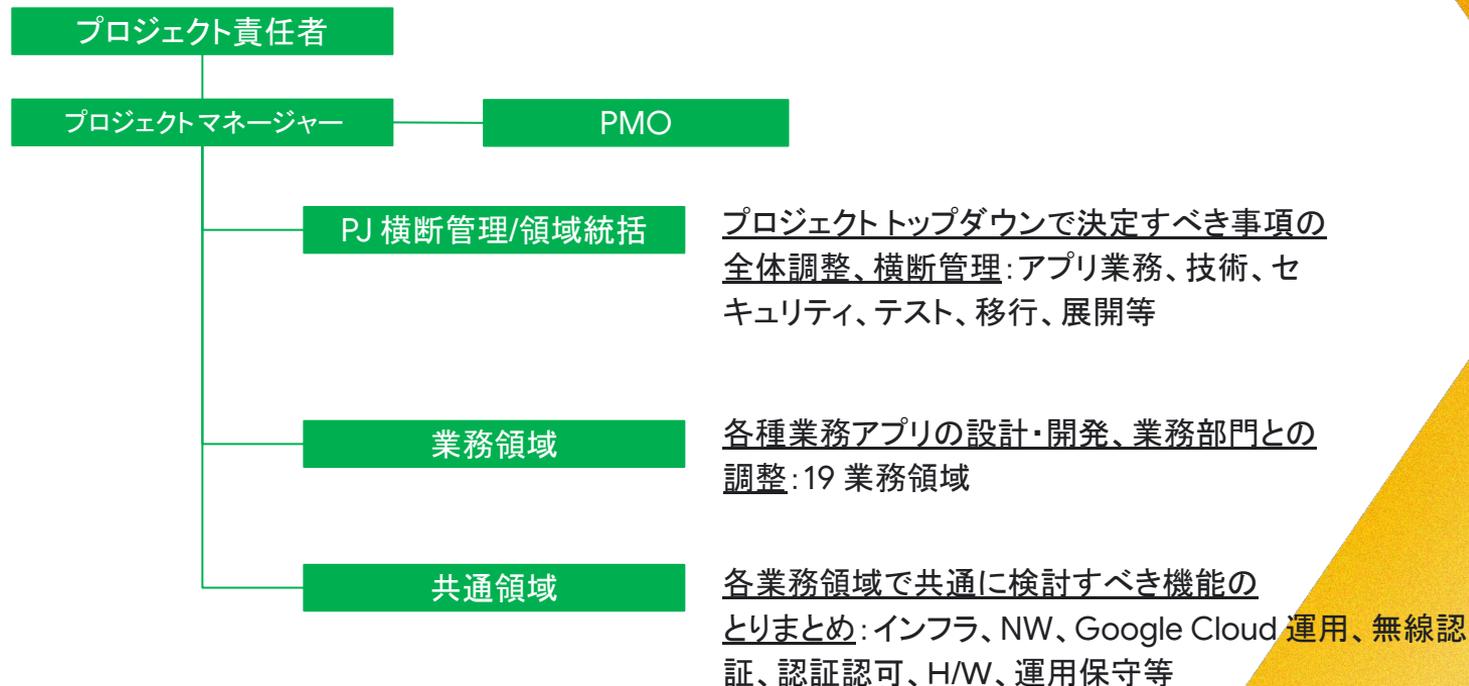
- 2月～事務所機能  
先行店舗展開開始
- 今秋～事務所機能  
全国展開

## 2026年

- 次世代 POS レジ 機能展開

# プロジェクト体制

常時約 1,500 名以上が稼働する大規模 PJ を管理するための仕組みを整備



# システム化基本方針

- ✓ 直感的で使いやすいデザイン
- ✓ 柔軟なデバイス選択
- ✓ 疎結合なアプリケーション (AI・外部サービス活用加速への備え)
- ✓ 利活用容易なデータ基盤
- ✓ DX 拡大・事業成長に追従可能なクラウドインフラ
- ✓ 自律的で自動化されたシステム運用・保守基盤
- ✓ 堅牢なセキュリティ

# 02. 直感的で使いやすいデザイン

- ・現場との共創



株式会社

セブン-イレブン・ジャパン

## 猪瀬 裕一

次世代システム推進プロジェクト  
メンバー



2003 年セブン-イレブン・ジャパン中途入社

店舗勤務を経て OFC (オペレーション・フィールド・カウンセラー) として  
加盟店の経営コンサルティングに従事

2011 年から 5 年間 OFC 候補の社員教育を担うトレーナーを経験

2019 年システム本部店舗システム部に異動

現場での経験を活かし、加盟店の経営数値改善と業務効率化に繋がるシステム改修を担当

2020 年より次世代システム構築プロジェクト メンバーとして

店舗の業務アプリケーション検討・開発統括リーダーを務めている

# システム化基本方針

- ✓ 直感的で使いやすいデザイン
- ✓ 柔軟なデバイス選択
- ✓ 疎結合なアプリケーション (AI・外部サービス活用加速への備え)
- ✓ 利活用容易なデータ基盤
- ✓ DX 拡大・事業成長に追従可能なクラウドインフラ
- ✓ 自律的で自動化されたシステム運用・保守基盤
- ✓ 堅牢なセキュリティ

# 統一デザインの狙い

## ユーザビリティ向上

文字が読めなくても使いこなせる・意味が伝わり理解できる



お客様・オーナー・従業員  
(外国籍・高齢者・新人含む)

デザインシステム  
仕組み化



マルチシステムベンダー

SEJデザインに統一・順守  
(バラつき抑制)



システム本部の担当者

デザイン工数抑制  
スピードアップ

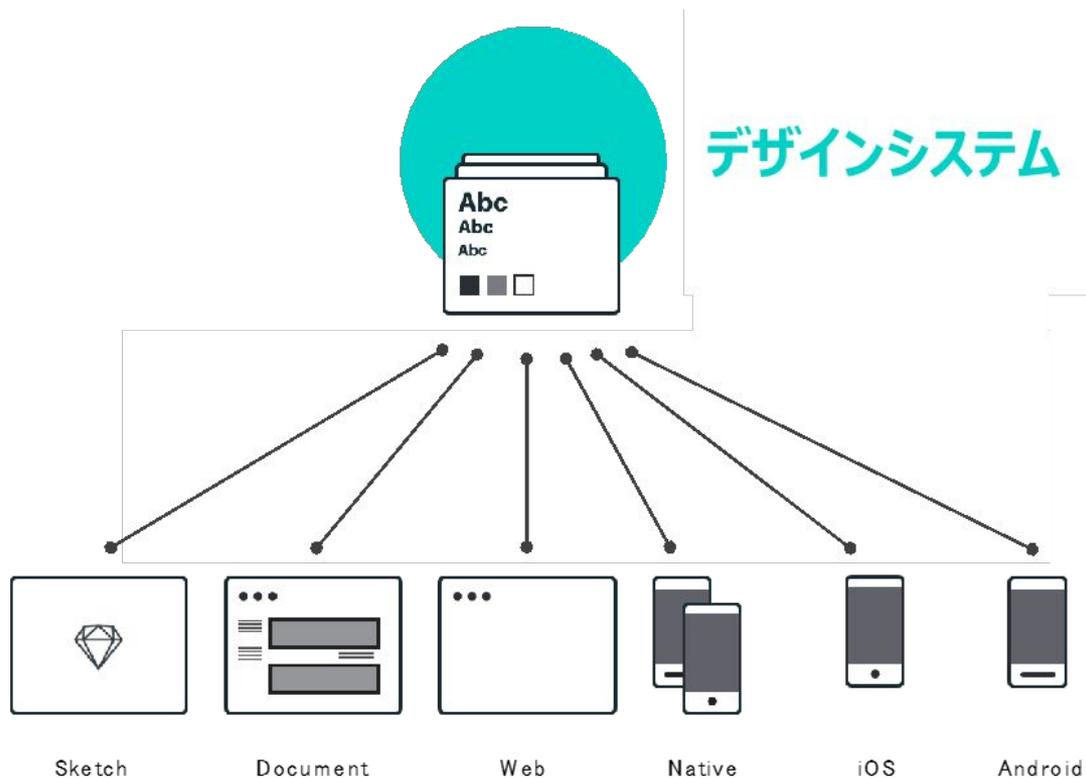
1

誰もが使いこなせる操作体験を提供

2

共通で使えるガイドライン・素材の  
仕組み化

# デザインシステム導入



- 1 部品や UI キットの中央管理
- 2 開発スピードアップ
- 3 運用コスト削減

※デザインファイル

Google Cloud Next Tokyo

# 現場との共創

リリース前にユーザーテストを実施し、使い勝手を検証



# 03. システム構成と 技術アーキテクチャ



## 佐藤 毅

システム企画部エキスパート  
兼 次世代システム推進プロジェクトメンバー



Slerにて約10年間SEおよびPMとして  
多様な業界・業種の業務系システムにおける  
コンサルティングやシステムインテグレーションに従事

2016年 セブン&アイ・ホールディングス入社 セブン-イレブン・ジャパン 出向 / 転籍  
 店舗システム部 : 新サービスおよび新業務のシステム企画・検討・開発を担当  
 システム企画部 : 主にデータ利活用基盤 **セブンCENTRAL** の構築をリード  
 現在は システムのモダナイゼーションおよびクラウドシフトを推進



# システム化基本方針

- ✓ 直感的で使いやすいデザイン
- ✓ 柔軟なデバイス選択
- ✓ 疎結合なアプリケーション (AI・外部サービス活用加速への備え)
- ✓ 利活用容易なデータ基盤
- ✓ DX 拡大・事業成長に追従可能なクラウドインフラ
- ✓ 自律的で自動化されたシステム運用・保守基盤
- ✓ 堅牢なセキュリティ

# 本プロジェクトで工夫したこと



## 課題

コミュニケーション / QCD のトレードオフ / 障害リスク(安定運用)



## 原因

マルチベンダー / 複雑・大規模 / ミッションクリティカル



## 解決策

アーキテクチャ ブループリント(設計指針)

を定める



## 効果

- ✓ ベンダー依存の体制の脱却
- ✓ 開発のスマート化
- ✓ 品質向上 / リスク低減
- ✓ コンプライアンス確保
- ✓ ナレッジ蓄積

# アーキテクチャブループリント ～ プロジェクトの方向性を定める羅針盤 ～



ビジネス アーキテクチャ

データ アーキテクチャ

アプリケーション アーキテクチャ

テクノロジー アーキテクチャ

- ▶ アーキテクチャ全体方針
- ▶ 非機能要件方針
- ▶ 開発プロセス・ツール方針
- ▶ API 管理ブループリント
- ▶ アプリアーキブループリント
- ▶ データ連携ブループリント
- ▶ マイクロサービスブループリント
- ▶ 運用アーキブループリント
- ▶ クラウド基盤ブループリント
- ▶ 基盤セキュリティブループリント

# 本プロジェクトで作ったアーキテクチャブループリント



# 本プロジェクトで作ったアーキテクチャブループリント



■ : アーキテクチャブループリント



# DevSecOps が導く開発改革

## プロジェクト管理

タスク管理



資料共有



開発ポータル



コミュニケーション



テスト管理



## 開発管理

リポジトリ管理



CI/CD



静的解析



セキュリティチェック



デリバリー



構成管理



シークレット情報管理



## 運用環境

ログ管理



アーティファクト管理



デプロイ対象

アプリモジュール



DAG/スクリプト  
マニフェスト



コンテナイメージ  
マニフェスト



コンテナイメージ



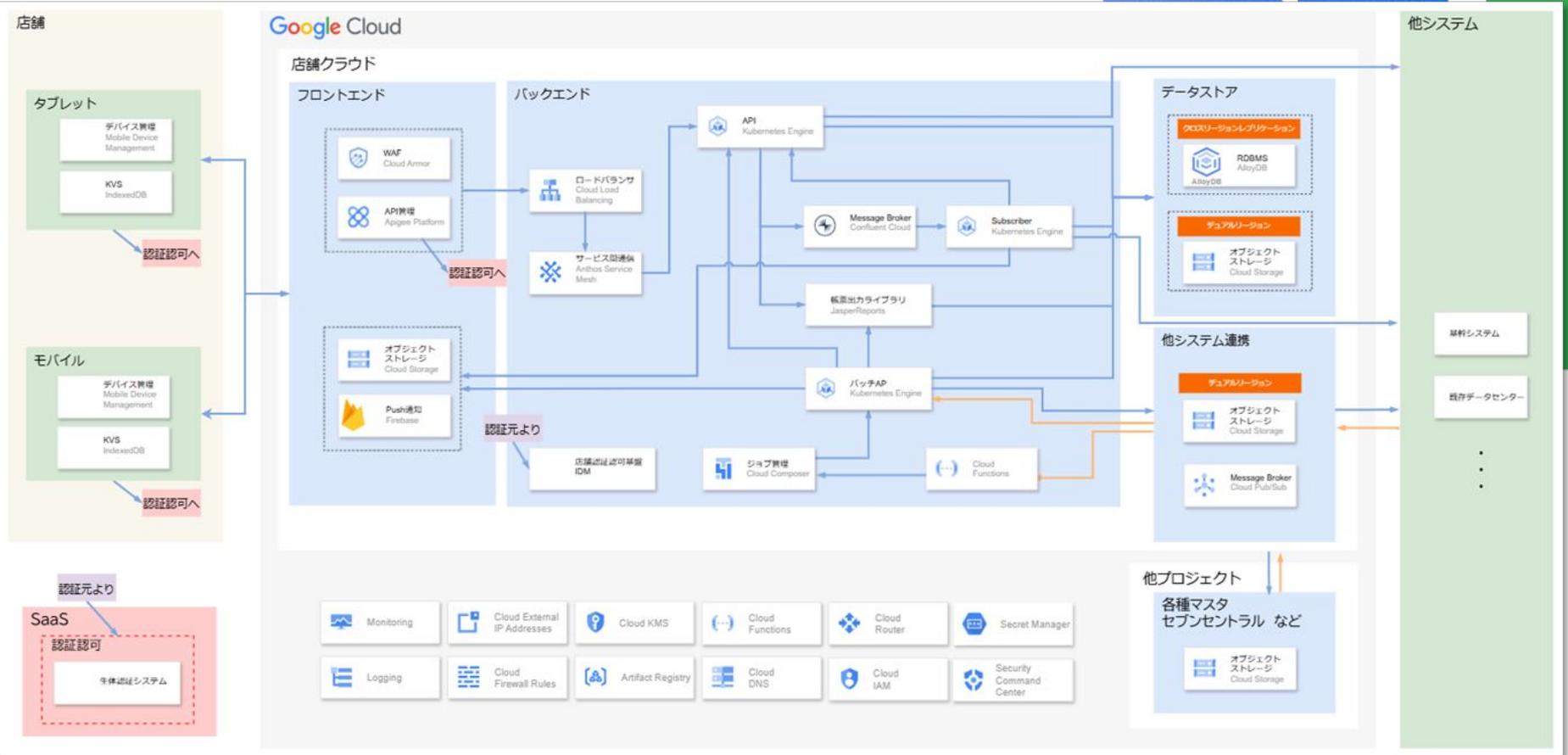
帳票フォーム  
Jsonファイル



DB定義  
マスターデータ



# アーキテクチャ構成



# 04. AI 活用と現場業務の進化



株式会社

セブン-イレブン・ジャパン

## 森川 弘康

次世代システム推進プロジェクト  
メンバー



2001年:セブン-イレブン・ジャパンに入社し店舗勤務

2004年:千葉地区 OFC(オペレーション・フィールド・カウンセラー)として加盟店の経営コンサルティングに従事

2017年:システム本部に異動し、第7次システム検討、AI発注システムの企画・検討・開発をリードしリリース

2020年:次世代システム構築プロジェクトメンバーとして業務アプリケーション検討・開発統括リーダー兼

AI領域の検討・開発リーダー

# システム化基本方針

- ✓ 直感的で使いやすいデザイン
- ✓ 柔軟なデバイス選択
- ✓ 疎結合なアプリケーション (AI・外部サービス活用加速への備え)
- ✓ 利活用容易なデータ基盤
- ✓ DX 拡大・事業成長に追従可能なクラウドインフラ
- ✓ 自律的で自動化されたシステム運用・保守基盤
- ✓ 堅牢なセキュリティ

# AI 活用の促進

## AI 発注範囲の拡大

AI 発注の範囲を長鮮度 Dairy 商品まで  
拡大し、売上向上とフードロス削減を実現



非 Dairy



長鮮度 Dairy

## 検索機能の充実

業務に必要な情報、マニュアルに  
素早くアクセスできる



## 顔認証システム

ログイン時に顔認証を採用  
セキュアかつスピーディーに



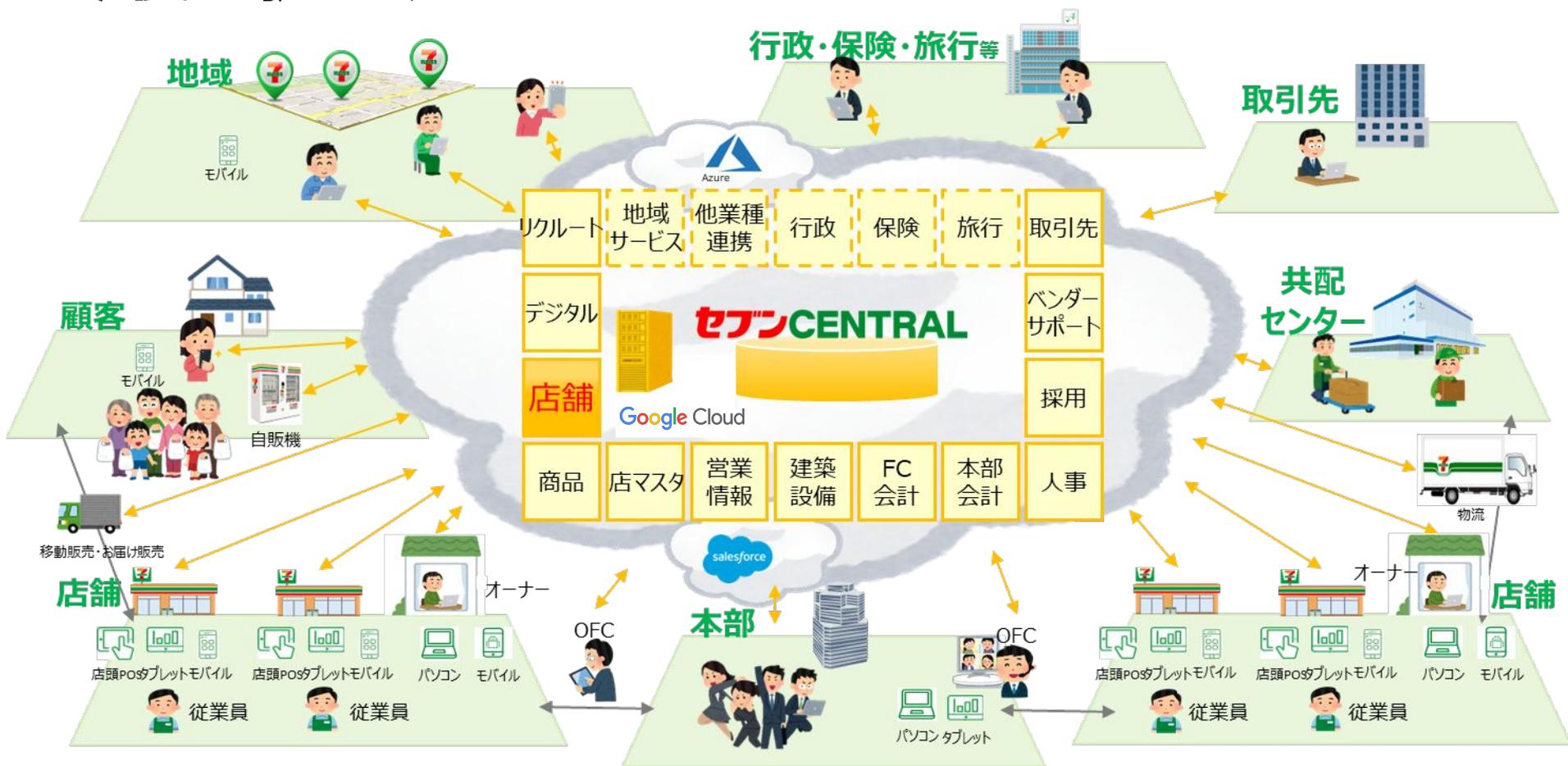
# AI 活用の備え

**AI-HUB 機能** アプリやお店ごと最適な AI に切り替えることができる  
常に最適な業務支援を行える環境を構えている



# 05. まとめ・クロージング

# 今後の拡がり



明日の笑顔を 共に創る

